

事業報告書

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当上半期の事業報告書をお届けします。

1. 当期の経営成績・財政状態の概況

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~9月30日)は、国際通貨基金が今年の経済成長率見通しを複数回下方修正し、また「何十年ぶりの現象」という言われ方がしばしばなされる情勢となりました。景気循環的な減速に加えて、様々な変化が世界経済を揺り動かしています。インフレーションの沈静化を目指す金融政策が取られる一方で、カーボンニュートラルの施策や経済安保ほかの産業政策が進みつつあります。顧客との意思疎通を密に保ち、顧客にとって価値ある製品の開発を急ぐとともに、揺るぎない品質の製品を安定供給し続けます。短期的な変動・振幅を巧みに乗り切り、顧客と市場からの要望・需要に適時に応えられるよう、投資と開発を継続します。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

1 連結経営成績(累計)

※億円未満切捨て

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり四半期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	14,093	49.7	5,362	79.7	5,590	84.2	3,923	77.6	955.99
2022年3月期第2四半期	9,413	32.5	2,984	61.9	3,035	57.9	2,209	57.4	531.67

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 7,292億円(129.2%) 2022年3月期第2四半期 3,182億円(153.7%)

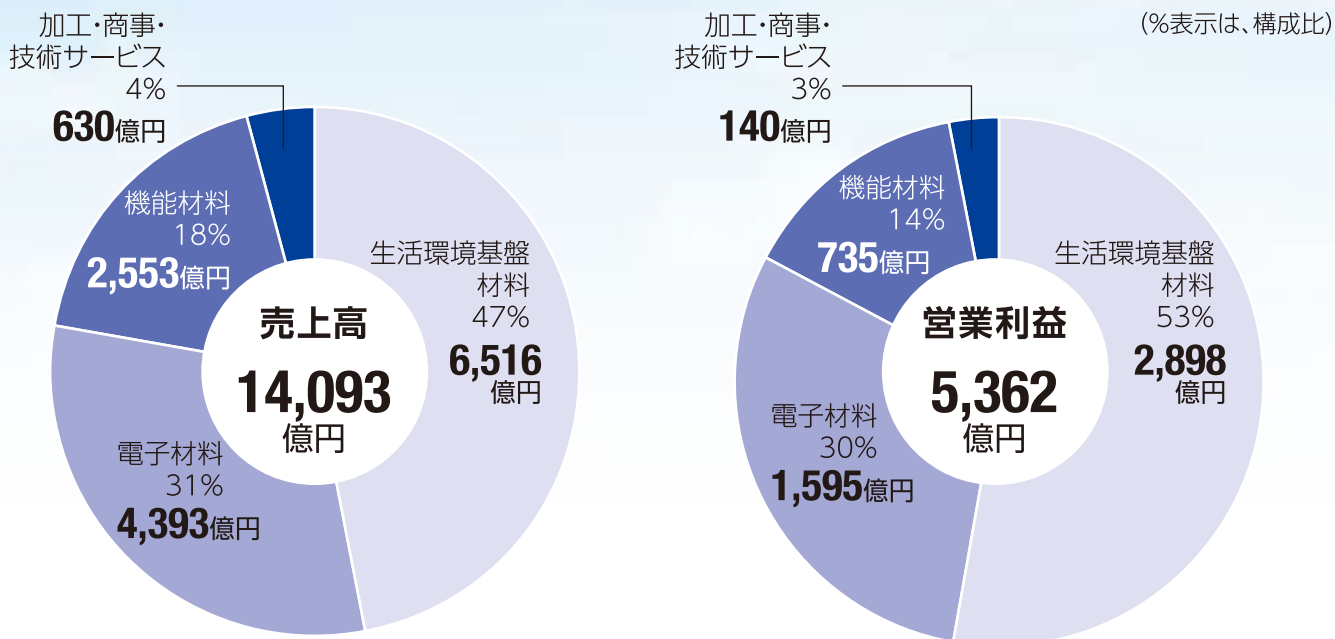
2 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	億円	億円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	46,124	39,014	81.7	9,268.71
2022年3月期	40,534	34,292	82.1	8,007.24

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 37,694億円 2022年3月期 33,265億円

3 セグメント別の概況

セグメント別売上高と営業利益



▶ 生活環境基盤材料事業

	2021年4月～9月	2022年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	3,639	6,516	79.0
営業利益	1,232	2,898	2.4倍

塩化ビニルに関しては、堅調さを持続した米国シンテック社の4-6月の実績が当該期に計上されています。7月以降の情勢は、世界的な景気後退の様相が市況に表れました。その一方でか性ソーダ市況は底堅さを維持しました。

▶ 電子材料事業

	2021年4月～9月	2022年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	3,355	4,393	30.9
営業利益	1,187	1,595	34.3

半導体市場は、当第2四半期もファウンドリーを中心に強い需要が継続し、当社はシリコンウエハー、フォトレジスト、マスクブランクス等の半導体材料を最大限出荷しました。希土類磁石は、半導体不足による顧客の操業制限やデータセンター投資の調整がありましたが、総じて需要は堅調でした。

▶ 機能材料事業

	2021年4月～9月	2022年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	1,884	2,553	35.5
営業利益	464	735	58.3

車載用途、パーソナルケア及びヘルスケア用途ほかの機能性用途向けの割合を適時に上げ、収益性の維持を図りました。

▶ 加工・商事・技術サービス事業

	2021年4月～9月	2022年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	533	630	18.2
営業利益	104	140	35.0

半導体ウエハー関連容器は出荷用、工程内用ともに販売順調で、自動車用入力デバイスの販売は前年並みでした。食品包装用塩ビラッピングフィルムや建設資材など塩ビ関連製品は、改定価格が浸透しつつあります。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際通貨基金は最近、「世界経済の約3分の1を占める国が今年または来年にマイナス成長となると予想され、2023年の景気減速は広範に及ぶだろう。世界の3大経済である米国と中国、ユーロ圏の失速は続くと思われる」と述べました。このような状況で予想は容易ではありませんが、2023年3月期通期の業績予想を下記のとおり上方修正します。

2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

※2022年7月27日に発表しました通期の業績予想を下記のとおり上方修正しています。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
2023年3月期 (前回発表予想) (2022年7月27日公表)	25,500		8,250		8,400		5,880		1,432.59
2023年3月期 (今回発表予想)	27,000	30.2	9,400	39.0	9,800	41.1	6,800	36.0	1,670.65
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	20,744		6,763		6,944		5,001		1,203.80

3. 配当金に関する説明

当期の中間配当金は、前年同期に比べ75円増配の1株当たり225円とさせていただきます。また、年間合計の配当予想は前期より50円増配の1株当たり450円となります。

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期(当期)	225.00	(予想) 225.00	(予想) 450.00
2022年3月期(前期実績)	150.00	250.00	400.00

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当受領株主確定日	期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。(https://www.shinetsu.co.jp/jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京・名古屋
株主名簿管理人 特別口座の管理機関 (連絡先) (郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

■ 証券会社等の口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

上記以外の住所変更、配当金の受領方法の指定・変更等のお手続き、ご照会などは口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 単元未満株式の買取・買増請求
- 住所、氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定
- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

■ 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

■ マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま お取引の証券会社までお問い合わせください。

- 証券会社とのお取引がない株主さま

三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。
電話 0120-232-711 (通話料無料)